

夕刊



行發日六月一... (Publication information for the evening edition)

關西だより(上)

青木淳

私が關西の方へ来ては... (Main text of the '關西だより' column)

新歌壇

小山田 滋選

山茶花... (New songs and poems by various authors)

拈華微笑

平局の年賀状

拈華微笑... (Humorous column about New Year cards)

お蘭のお蝶

飯利幸四郎

お蘭のお蝶... (Humorous column about a butterfly)



新年雑詠

磯上 六花

新年雑詠... (New Year poems)

ラヂオ

七日(土曜)

ラヂオ... (Radio program schedule)

謹賀新年... (New Year greetings and notices)

cafe 喫茶・食事 (Cafe advertisement with logo and address)

前田醫院 (Mieda Hospital advertisement)

市原醫院 (Ichihara Hospital advertisement)

市原醫院 (Advertisement for Ichihara Hospital, including various departments)

大塚製靴部 (Otsuka Shojo Department advertisement for shoes)

耳鼻科専門 (Ear, Nose, and Throat Specialist advertisement)

開業廣告 (Opening Advertisement for a medical practice)

吸入用酸素 (Inhalation Oxygen advertisement)

関内藥局 (Kannai Pharmacy advertisement)

井阪醫院 (Iizaka Hospital advertisement)

共榮漆器店 (Kieiro Shikigamiya advertisement for lacquerware)

上田醫院 (Ueda Hospital advertisement)

春訪れし満洲から

勇士の賀状色々

陸軍歩兵中尉 比佐國永君(湯本出身) 満洲は陸軍として新與し聯盟の毛唐の経言など思はず東洋永遠の平和の爲、共存共榮の實を擧ぐるの緒に就き申候。師團は内地歸還の命に接し〇隊も近く〇〇出發の望に候。

陸軍憲兵上等兵 坂本勝美君(出身)

思ひ起せば昭和六年の夏四月、大阪灣頭を船出してより早や第二回目の正月を而も陣中に送り迎ひの出来得ず。日本男子として本懐之れに過ぐるものなく只感慨無量の思ひあるのみであります。九月十九日奉天城占據を振舞出しに、チチハル、錦州(正月)、哈爾濱と數度の戰闘に連戦連勝、常勝師團として武名赫赫たる第二多門師團の麾下に在り、皇恩の萬分の一を報せられしと思へば日本軍人として立つ自分を衷心より喜び居ります。(中略)皆様の統後の支援は慰問袋となり、慰問品となり、吾々の手に入り、只々感謝の外ありません。(後略)

征戰 武勳に輝く 將兵通過

二年 明七日から三日間 平驛頭の歡迎

砲第二上陸市(柳町) 同歩二九の歩兵砲隊(分隊) 隊木村石三(正月町) 同五深谷四三郎(堤之内) 同歩兵砲隊(分隊) 隊三(梅ヶ町) 同二小林隆雄(鎌次(大工町))

御下賜金

八日平町で傳達式 暴風雨被害救済の恩恵を以て長き送りから金一三封御下賜を拜した平町では八日午後一時から平町會館に於て拜受者十八名に對し之が傳達式を舉行する

十二日着平

町出身凱旋兵 十二日平町に歸還する町出身凱旋兵の如し 獨立守備第二大隊赤津重美(二丁目) 歩二九の七長谷川芳雄(南町) 同野

江名冷凍冷蔵落成

明七日漁組樓上で披露會 過般來江名海岸に新築中であつた同地冷蔵會社の二十五萬三千、次越五十七冷凍冷蔵庫は客中見事に二萬二千、合計百三十三萬千通で落成した。明七日午前十時、合計百三十三萬千通の落成式を舉行する。

平局の年賀状

一割三分増 合計百七十萬 無切手二四一 無宛名九

永遠の生命を死の國に

正月五日の眞夜中 床屋八千代(三)女中よし(八)の心中 平町七丁目理髮業八千代(三)は昨五日午前零時半頃向ひの飲食店越中屋中仙太郎方女中橋本よし(二)とホルマリン及石炭酸を多量に嚥下して心中した。女は本郡赤井村大字赤井の生れで八千代の内妻宮野(三)と同郷の關係から足繁く出入り中昨年十月頃から八千代と情を通じ最近では男が殆ど毎晩情婦の下に寝泊りして居た爲に夫婦喧嘩が絶え間なく不義理な借金が行き、味氣な女を誘つた上此の仕儀に出たものらしく愛されたら生後五十餘日の乳児と七才を頭にして二人の幼子を抱へ附近の同情に依り同夜夫の野邊送りをして来た

義捐金分配

平鮮魚商組合から 遭難者遺族へ 難漁夫遺族の弔金金は合計二百二十の町に達した。此程左の如く町役場を通じて贈與した

蓮沼恵子嬢

本社副社長蓮沼龍輔氏二女當時住所不定無職田村郡三間村小田炭礦朝飯場から恵子(三)さんは客臘來肺病療養所生れ病室前科四犯川前(一)を患ひ市原醫師其他により國之助(四)は昨年十月申好年未だ二十六(價格百五十圓)の窃盜を働きた四日平署に検束された

三千圓の證文を懐に

農家の小作迂路つゝ 高久村下高久農夫三男三男重説の上親許へ引渡した木房吉(四)は三日夜自宅から貸金證書四枚合計三千餘圓を盗出し家出したので當國を捜し出し依り平署で出初見學のため井上組頭捜索中昨五日夜平町大工町引率の下に自動車に分乗し地内で発見取押へ今日六日嚴發した

情夫に見捨てられ

好問の酌婦服毒自殺 好問村北好問料理店本事業(三)は昨五日午前八時高水ナオ方酌婦新海濱西時頃猫イラズを嚥下苦悶中浦原郡町生れ郡田市中田中朋輩が発見急急手当を加へ赤木町二七作市二女大瀧が同日午後七時死亡した

志賀氏退職

平區の名監督書記 平區裁判所監督書記志賀庄の妻堀川(三)を毆打三郎氏は客臘二十六日付家人未遂として平支部に於て事上の都合で辭職し郷里神德七年の求刑に對し五年谷村で晴雨讀の生活に入を言渡されたが言渡し兩三事となつたが在官中に三日前被害者が死亡したので十四年永い間の監督書記と檢事から控訴あつた

合計廿六件の盗み

前科四犯のルンペン檢舉 前科四犯のルンペン檢舉 前科四犯のルンペン檢舉

朝かかな春

彼女(妾)に勝つた方には、キッスを上げてよ! (これは失禮)

人國記年頭感

赤井嶽男記 眞の藝術は愛情の深い夫に配された妻の如く何等の飾りも必要としない。併し藝術は買春婦の如く常に脂粉で装はれて居なければならぬ。

永遠の生命を死の國に

正月五日の眞夜中 床屋八千代(三)女中よし(八)の心中

義捐金分配

平鮮魚商組合から 遭難者遺族へ

蓮沼恵子嬢

本社副社長蓮沼龍輔氏二女當時住所不定無職田村郡三間村小田炭礦朝飯場から

三千圓の證文を懐に

農家の小作迂路つゝ 高久村下高久農夫三男三男重説の上親許へ引渡した

情夫に見捨てられ

好問の酌婦服毒自殺 好問村北好問料理店本事業(三)は昨五日午前八時

志賀氏退職

平區の名監督書記 平區裁判所監督書記志賀庄の妻堀川(三)を毆打

合計廿六件の盗み

前科四犯のルンペン檢舉 前科四犯のルンペン檢舉

朝かかな春

彼女(妾)に勝つた方には、キッスを上げてよ!

人國記年頭感

赤井嶽男記 眞の藝術は愛情の深い夫に配された妻の如く

序曲は明かに 當時の野球選手 名簿の順序に拘泥せずし記の信條とす。蓋し當分書き頼んとする人國記で、新年らしく一つ明かなる、假令其の行文が麻痺處と云ふ意味で野球選手かあり叙述が餘りに廻り廻り行かぬ。

禮週ナチケ



志賀氏退職

平區の名監督書記 平區裁判所監督書記志賀庄の妻堀川(三)を毆打

合計廿六件の盗み

前科四犯のルンペン檢舉 前科四犯のルンペン檢舉

朝かかな春

彼女(妾)に勝つた方には、キッスを上げてよ!

人國記年頭感

赤井嶽男記 眞の藝術は愛情の深い夫に配された妻の如く

御下賜金

八日平町で傳達式 暴風雨被害救済の恩恵を以て長き送りから

十二日着平

町出身凱旋兵 十二日平町に歸還する町出身凱旋兵の如し

白の人因ん息は何にもならぬ... 平町慶弔録

平町慶弔録 六間門〇藤田町一八八番木蓮

お醤油は... ヤマフル 味噌醤油 山崎合名會社

耳鼻科、咽喉科、専門 平町南町 (元真木辯士) 増田耳鼻科醫院

体温計の検査日です 西村屋藥局

高久病院 醫學士 赤井嶽男

木村病院 醫學士 内木宗八

泌尿科、外科、産婦人科 木村病院